

IKポット耕 システム

高収量・安定生産の トマト栽培

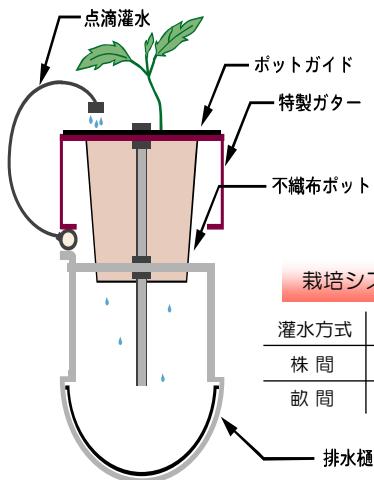


●IKポット耕システムとは

トマトを1株毎にポットで根域を独立させて栽培するポット耕方式。少量培地ベンチ栽培で、土壌病害のリスクを低減、自根苗でのトマト栽培が可能です。ベンチ栽培のため楽な姿勢で作業ができます。

●長期多段・多収栽培の新提案

トマトの草勢をコンパクトに抑え、高密度での長期多段栽培を実現。専用不織布ポットを使用し、夏場は気化潜熱利用で高温を抑制、冬場はベンチをフィルムで覆い根圏加温することで効果的に栽培することができます。



栽培システム概略

灌水方式	1株1点給液
株間	16~20cm
畝間	1.6~1.8m

クールパッドシステムを利用して



クールパッドを利用し空調室で整えた冷気をファン/ダクトを介しガター下に送り込みます。平地での夏越しトマト栽培が可能です。空調室では暖気、炭酸ガス等も調整します。

IKポット耕 5つのメリット

**きめ細かな
養液管理**
灌水を自動化。少量・多頻度灌水により生育ステージに適したきめ細やかな養液管理

病害リスクを低減
ポットを土壌から隔離し土壌病害を防ぎ、1株毎に培地を独立し病害の拡大を抑制

**トマトの
高収量・安定生産**

高密度での長期栽培
栽植本数2,500株以上/反

収量41t/反(導入実績)

エコシステム
灌水の排水量を減らし、コスト削減・環境にやさしい設計

低コスト

従来型トマト栽培・ロックウール栽培に比べて大幅にコストを削減



灌水制御盤・養液コントローラー
タイマー制御・排液感知による給水停止/EC値制御



コントローラー/タンク周り
バッチ式で養液を管理、安定した肥料濃度で灌水



鋼製ガター
ハンギング方式でガター下はすっきりと(架台打込み自立式も対応)



排液感知
センサーで排液を検知し灌水ストップ
無駄な排水を減らし、過灌水を防ぎます

オプション設備でより多収！より安心！

日射比例灌水	積算日射で灌水制御
警報発信装置	灌水のエラーを携帯へメール送信
灌水システムの増設	制御盤のチャンネル数を増設

園芸・種苗



IKポット耕システム専用のオリジナル培養土を製造しています

トマトプラグ苗(自根/接木)を生産しています



神戸ラボ

IKポット耕でトマトを、ムービングガターで葉菜類の栽培実証・研究を行なっています

